令和7年7月25日掲載

東京都渋谷区恵比寿1丁目18番14号

クラウドバンク・フィナンシャルサービス株式会社

代表取締役 川戸 淳一郎

【貸借対照表】

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金額	科 目	金額
【流動資産】	[28,737,653]	【流動負債】	[28,329,707]
現金及び預金	1,957,856	短期借入金	102,250
立替金	3,690	関係会社短期借入金	1,024,577
前払費用	738	匿名組合預り金	26,057,351
未収収益	6,122	預り金	30,630
関係会社未収収益	164,365	仮受金	6,110
関係会社未収入金	615,028	関係会社未払金	898,560
匿名組合貸付金	24,868,982	未払費用	102,330
短期貸付金	239,000	関係会社未払費用	75,070
関係会社短期貸付金	843,376	未払法人税等	32,827
預け金	82,600	負債の部合計	28,329,707
その他	481	純資産の	· 部
貸倒引当金	△ 44,589	科 目	金 額
【固定資産】	[1,887]	【株主資本】	[409,833]
(有形固定資産)	(77)	【資本金】	[40,000]
建物附属設備	820	【資本剰余金】	[21,000]
工具、器具及び備品	2,886	(資本準備金)	(21,000)
減価償却累計額	△ 3,630	【利益剰余金】	[348,833]
(投資その他の資産)	(1,810)	(その他利益剰余金)	(348,833)
敷金	1,800	繰越利益剰余金	348,833
その他	10	純資産の部合計	409,833
資産の部合計	28,739,541	負債・純資産の部合計	28,739,541

個別注記表

クラウドバンク・フィナンシャルサービス株式会社

(重要な会計方針)

1 固定資産の減価償却の方法

有形固定資產

減価償却の方法、及び、主な耐用年数は次のとおりです。

建物附属設備: 定額法5年工具、器具及び備品: 定率法4年

2 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

3 収益及び費用の計上基準

当社が帰属するクラウドバンクグループでは、主力事業として、主にインターネットを通じて投資家より小口の資金を募集し、資金需要を有する企業等へ融資を行い、これによって生じた利息等を投資家に分配する融資型クラウドファンディング事業を行っています。

当事業において、当社が営業者として、顧客との間で匿名組合契約を締結し、顧客から出資を受けた金銭を貸付債権に投資することにより運用しています。本業務の遂行に対する報酬として受領する、営業者報酬、及び、債務者から直接受領する、貸付債権に関しての融資事務手数料が主な収益となっています。

営業者報酬、融資事務手数料においては、顧客との契約内容に応じた受託業務を提供することが履行義務であり、業務が実際された時点で当社の履行義務が充足されることから、当該時点で収益を認識しています。

- 4 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項
 - (1) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しています。

(2) グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しています。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第 27 号 2022 年 10 月 28 日。以下、「2022 年 改正会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による財務諸表への影響はありません。

(貸借対照表に関する注記)

関係会社に対する金銭債権・債務

未収入金	615,028 千円
未収収益	164,365 千円
短期貸付金	843,376 千円
未払金	898,560 千円
未払費用	102,330 千円
短期借入金	1,024,577 千円

(一株当たり情報に関する注記)

1株当たり純資産額6,718,577 円 52 銭1株当たり当期純利益2,329,532 円 21 銭

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(当期純損益金額)

当期純利益 142,101 千円